評価指標	目標
【県】	
神奈川県災害医療対策会議の開催回数	毎年１回
神奈川県災害医療コーディネーター会議等災害医療対策会議の下部会議の開催回数	毎年10回以上
神奈川県が主催または参加する訓練の回数（関東ブロックDMAT訓練、ビッグレスキューかながわなど）	毎年２回以上
【地域】	
地域災害医療対策会議の開催回数	毎年４回
地域災害医療コーディネーター研修の開催回数	毎年１回
地域災害医療コーディネーター研修に受講生を出した医療圏の数	毎年９ヵ所
神奈川県が主催または参加する訓練の回数（関東ブロックDMAT訓練、ビッグレスキューかながわなど）（再掲）	毎年２回以上
【医療機関】	
県が主催するEMIS操作研修の参加者数	毎年180人
DMAT隊員のうち、DMAT隊員感染症研修を修了した割合	100%
県内のDMATインストラクターの人数	30人以上
かながわDPAT研修の受講者数	毎年35人
神奈川県が主催または参加する訓練の回数（関東ブロックDMAT訓練、ビッグレスキューかながわなど）（再掲）	毎年２回以上
災害時医療救護活動研修会の参加者数	毎年200人
DMAT-L研修の参加者数	毎年80人
災害拠点病院の耐震化率	100%
【保健医療関係団体】	
災害時の県との連絡・情報連携窓口が設置されている団体数	11団体以上
県が実施する訓練に参加した団体数	毎年５団体以上

初期アウトカム

		【県】
	C101	計画の策定・改定を適時・適切に行っている
	C102	県内外の関係者との意見交換等の場を設けるとともに、計画の実効性を担保している
		【地域】
	C201	地域の関係者との意見交換等の場を設けるとともに、計画の実効性を担保している
	C202	地域の関係者への教育が適切に行われている
		【医療機関】
	C301	災害時医療を担う、実効性のある人材の確保・育成が適切に行われている
	C302	災害時医療を担う施設が適切に維持・管理されている
	C303	災害時医療に係る情報が適切に把握・管理されている
		【保健医療関係団体】
	C401	災害時の県との連絡・情報連携窓口が設置されている

中間アウトカム

		【県】
	B101	県の災害時医療体制を整理した計画を備えている
	B102	県内外の関係者との連携を適切に図っている
		【地域】
	B201	地域の関係者の連携が適切に図られている
	B202	関係者相互が地域内の災害時医療体制を理解している
		【医療機関】
	B301	災害時医療体制を実現するために必要な取組が講じられている
		【保健医療関係団体】
	B401	災害時の役割が明確であり、そのために必要な取組が講じられている

最終アウトカム

	A101	災害時医療が適切に提供できる